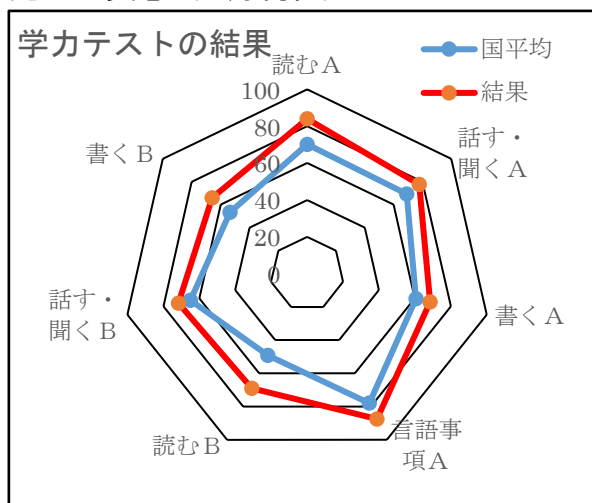


第6学年 国語科

児童の実態（7月現在）



<実態の分析>

（話す・聞く）力は身に付いているが、事前の準備を丁寧にする必要がある。

（書く）昨年度より向上が見られる。より詳しく自分の思いなどを書けるようにしたい。

（言語）漢字の読み書きや言葉のきまりの理解は個人差がある。

（読む）概ね教材の読み取りはできているが、個人差がある。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
[課題設定] 主体的に学習に取り組む課題設定の工夫。	[指導] 児童の身近な生活にかかわりがあり、成果を実感できる課題設定。	[補充的な学習指導] [補充的な学習指導] ・漢字テストについては、問題を予告し、練習を繰り返すことで成果が出るようにする。
[学習形態] 友達と対話しながら課題解決に取り組む学習形態の工夫。	[学習形態の工夫] 2人組、3人組など、学習内容に適したグループ人数と編成の工夫。	[発展的な学習指導] ・読むことに関して、発展的な課題に取り組むことができる児童には、より難易度の高い教材文を用いるなど、コース別学習も徐々に取り入れていく。
[発問・指示・板書計画] 児童が考えをより深めることのできる発問や、児童の発言をもとにした授業展開の工夫。	[発問・指示・板書の工夫] 答えが一つに絞られず、多様に考えを出し合い、比較検討できるような発問の工夫。	
[教材の活用] 児童の興味を惹きつけ、学習理解を深める教材の工夫。	[教材の工夫] 授業での手立てにつながるだけでなく、作品作りにも生かされるワークシートを工夫する。	
[評価の方法] 形成的評価をもとにした、指導の工夫。	[評価の工夫] 一単位時間ごとに児童の様子を記録し、必要な指導を実践する。	

<評価・修正>

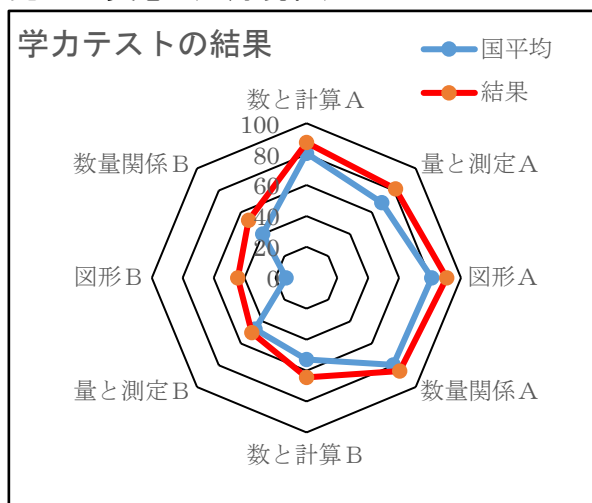
[評価] 学習形態や学習活動を工夫することで、意欲的に学習することができた。

一単位時間ごとに児童の様子を記録し、きめ細かく支援ができた。

[修正] 一人一人の学習をもとに、より学習を深める手立てを講じていく。

第6学年 算数科

児童の実態（7月現在）



＜実態の分析＞

観点別結果の分析

（数と計算）理解はできているが、習熟が必要な児童が多い。

（図形）図のかき方は理解できているが、正確性に課題がある。

（数量関係）数直線などのかいて、正しく数量関係を理解できるようにすることが課題である。

（量と測定）理解はしているが、活用に課題がある。

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
[課題設定] 思考をめぐらせる必要のある実態に即した課題設定。	[指導] 単元に応じて児童の実態に即した指導を実践する。	[補充的な学習指導] 計算領域、図形領域での児童に応じた個別指導を行う。習熟練習の時間をとり、技能面での向上を図る。
[学習形態] 自力解決・比較検討それぞれにおいて学びが深まる学習形態。	[学習形態の工夫] 個→グループ→全体と段階をふまえた学習形態の実践。	
[発問・指示・板書計画] 児童の発言をもとに課題解決を図る発問や指示の工夫。	[発問・指示・板書の工夫] 児童の発言を整理し、視覚的にも理解できる板書の工夫。	
[教材の活用] 課題解決の支援となる視覚教材の工夫。	[教材の工夫] 電子黒板を用いて、解決方法を視覚化し、支援をする。	
[評価の方法] ノート記述をもとにした、形成的評価。	[評価の工夫] 一人一人の到達度を記録し、それをもとに個々の課題に応じた支援を行う。	
		[発展的な学習指導] 計算練習等の習熟プリントだけでなく、一単位時間、またその単元の内容を活用した発展課題を用意する。

＜評価・修正＞

[評価] 習熟の時間を確保し、学習内容の定着を図ることができた。

[修正] 考え方の比較検討において、より学習を深めるための手立てを工夫する。

第6学年 社会科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析></p> <p>観点別結果の分析</p> <p>（思考・判断）調べたことを理論的に説明したり、歴史的事象を推測したりする力を付けさせた い。</p> <p>（技能）資料等の読み取りはおおよそできている。読み取った複数のことを結び付けて考えさせ たい。</p>
--

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>児童が主体的に課題設定をできていない。</p>	<p>[指導]</p> <p>導入時に単元の課題を、児童の発言や話し合いから立てる。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>調べ学習のときに、1人ではまとめが難しい児童には、わかりやすい資料を提供したり、教科書をじっくり読ませたりしていく。</p> <p>[発展的な学習指導]</p> <p>興味、関心の高い児童には、小学校の範囲を超えたより詳しい資料や、背景などの歴史読み物なども紹介していく。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>個人での調べる学習、全体での共有はしているが、児童間での対話をもとにした学習が少ない。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>一つの課題に対して、グループを作り、友達と一緒に解決する学習活動を取り入れる。</p>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>学習活動が円滑に行えるような発問や指示。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>教材研究をきめ細かく行い、毎時間の板書計画を立てる。</p>	
<p>[教材の活用]</p> <p>課題解決につながる資料の精選。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>資料の中で、児童が思考を働かせる視点を明確にする。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>教師の形成的評価と、児童間の評価を通じた学習理解の向上。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>児童同士の考えを交流し合う時間を確保し、その振り返りを大切にする。</p>	

<p><評価・修正></p> <p>[評価]個人で調べる学習については、学習時間を確保し、充実させることができた。</p> <p>[修正]児童同士の考えを交流し合う際に、特定の児童の意見に偏らないように、全ての児童がある程度、思考を深めることができるように留意していく。</p>

第6学年 理科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析></p> <p>観点別結果の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（思考・判断）実験結果から、考察する力を伸ばしていきたい。 ○（技能）より丁寧に実験を行えると、より学習理解が深まる。 ○（知識・理解）実験してわかったことを、復習するなどして知識の習得を深めたい。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>教師から提示する形が多く、内発的動機付けが不十分である。</p>	<p>[指導]</p> <p>児童の生活や経験をもとに、単元の課題を設定する。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>宿題などに復習になる内容を入れて、基本的な内容の理解を確実にする。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>課題の考察の際に、一部の児童の発言が中心となってしまう。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>実験結果が出た後、ペアやグループで、考察する時間を設定する。</p>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>実験結果から思考をめぐらせ、確かになったことを明確にする発問。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <p>教材研究をもとに、児童の考えが活発に出るような発問を設定する。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>デジタル教材などを活用し、類似した他の実験、観察を紹介したり、実際に体験させたりする。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>デジタル教材の有効活用。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>事前にデジタル教材を確認し、学習理解に有効な内容のものを選別して活用する。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>児童の思考力を明確にする評価規準の設定。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>単元開始時に評価規準を設定し、毎時間の記録をもとに、指導に反映させる。</p>	

<p><評価・修正></p> <p>[評価] デジタル教材の活用などを行い、実験が難しい単元でも、知識・理解を深めることができた。</p> <p>[修正] 課題設定を工夫し、より児童が主体的に学習に取り組めるようにしていく。</p>
--

第6学年 体育科

児童の実態（7月現在）

<p><実態の分析></p> <p>観点別結果の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技能：個人差はあるが、昨年度行った領域については、個々の技能の高まりは見られている。 ○ 態度：主体的に学習を進めることを意識させて指導したため、その効果はみられる。協力して課題解決をしようという意識はある。一方、グループ編成に配慮が必要な児童も見られる。 ○ 思考・判断：運動のポイントを意識して学習していることが、学習カードの記述から見られるようになった。運動の仕方が課題解決につながるように、指導していきたい。

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>より明確に課題をもち、運動に取り組む意識を高めさせる。</p>	<p>[指導]</p> <p>オリエンテーションの時間を充実させ、単元終了後の理想像をもたせる。</p>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>休み時間や放課後に取り組めるような運動を紹介し、体力向上に生かせるようにする。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>課題解決に有効な、グループ編成の工夫。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <p>ペア・トリオ・グループなど、運動の特性に応じたグループ編成の工夫。</p>	
<p>[指示・支援]</p> <p>課題解決に向けて児童が思考力を高めながら、運動に取り組めるような指示の工夫。</p>	<p>[指示・支援の工夫]</p> <p>運動において自分が考えたことを他者に伝える意識を高めるように声掛けをしていく。</p>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>安全性を十分に考慮したうえで難易度の高い技や動きを紹介し、できる範囲で取り組ませる。中学校へ向けて、運動からより競技に近い技や試合を経験させる。</p>
<p>[場の工夫・学習資料]</p> <p>課題解決に必要な技能を身に付けるための場の工夫や学習資料の提示。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <p>児童の運動意欲が高まり、課題を解決できるように段階に応じた場を用意する。</p>	
<p>[評価の方法]</p> <p>指導と評価の一体化を図り、児童が課題解決をできるようにさせる。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <p>形成的授業評価を行い、児童の運動意欲や思考・判断が変化した状況を分析し、指導に生かしていく。</p>	

<p><評価・修正></p> <p>[評価]技能差が大きくなる領域も増える中、個々の課題に対してきめ細かく指導することで、より楽しく運動することができた。</p> <p>[修正]運動の日常化につなげられていない児童が見られる。日常においても運動に親しむ態度を育てるための指導方法を開発していく。</p>
